

日本小児科学会小児医療委員会主催

第13回小児在宅医療実技講習会報告

開催日時：2019年6月30日

開催場所：宮日会館10階大会議室（宮崎県宮崎市高千穂通1-1-33）

参加費：6,000円（テキスト，昼食代込み）

参加者数：55名（申し込み60名，欠席5名）

主催：公益社団法人 日本小児科学会

後援：日本小児科学会宮崎地方会，宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野，
宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座，日本小児在宅医療支援研究会，
宮崎市，宮崎県，宮崎県医師会，宮崎県小児科医会

概要：日本小児科学会が毎年実施している小児在宅医療の基礎知識と基本技術の習得を目的とした主に医師向けの講習会。今回は宮崎県での開催となった。講義に加え，人工呼吸器，排痰補助装置などの体験学習，実習人形を用いた気管切開カニューレ交換と胃ろうボタン交換の実技体験を行った。

プログラム内容：

1. ブリーフィング：池田俊郎（宮崎大学医学部宮崎小児地域医療学・次世代育成支援講座）
2. 開会の挨拶：東 寛（日本小児科学会担当理事）
3. 講義1「小児の気管切開管理」：奥田 匠（宮崎大学耳鼻咽喉・頭頸部外科）
4. 実習1「在宅人工呼吸器」，実習2「気管切開カニューレ交換」
5. 講義2 在宅医療の実際
 - (1)「在宅医療児の災害時の対応」：緒方健一（おがた小児科・内科）
 - (2)「小児・成人の在宅医療」：木村直子（生涯医療クリニックさっぽろ）
6. 講義3「小児の在宅胃ろう管理」：鈴木昌也（宮崎県立宮崎病院小児科）
7. 実習3「胃ろうボタン交換」，実習4「在宅酸素」
8. 講義4 在宅医療の実際
 - (3)「宮崎地区の在宅医療患者の実情」：
池田俊郎（宮崎大学医学部宮崎小児地域医療学・次世代育成支援講座）
9. 修了証授与：東 寛（日本小児科学会担当理事）
10. 閉会の挨拶：盛武 浩（宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野教授）

参加者：宮崎県23名，鹿児島県8名，福岡県7名，大分県1名，大阪府7名，東京都2名，神奈川県2名，山口県1名，広島県1名，兵庫県1名，新潟県1名，愛知県1名

内訳：日本小児科学会会員41名，非会員14名

開業医10名，一般病院勤務医33名，大学病院勤務医10名，訪問看護2名

医師（小児科）41名，医師（小児科以外）3名，看護師10名，作業療法士1名

スタッフ内訳：講師（会員4名，非会員1名）

宮崎大学10名，宮崎県立こども療育センター2名，愛泉会日南病院1名，宮崎県立日南病院1名，宮崎県立宮崎病院1名（医師7名，コメディカル3名，技能補佐員1名，事務4名），土浦協同病院3名，筑波大学医学部1名（次期開催地），日本小児科学会小児医療委員会7名（担当理事1名，担当委員1名，委員5名）

アンケート結果：50名が回答し，主に40～50代であった。24名が学会ホームページから講習会の開催を知ったと回答し，全員が内容に満足と回答された。テキストをもう少しわかりやすく作成してほしい，あるいは実習時間をもう少し長くとの意見も寄せられたが，全員が本講習会の今後の継続に賛同いただいた。

まとめ：宮崎大学のチームワークと周到な準備に支えられ，とても円滑な講習会運営がなされた。九州からの参加が7割を占め，地域における事業の進め方に関する意見も多く見られたことから，本講習会が九州地方における小児在宅医療推進に一役買うことができたと考えられる。アンケートに寄せられた要望などを参考に，今後の九州地方の小児在宅医療推進に繋がることを期待する。